

型番 SAD-4942

取扱説明書 (保証書別途添付)

このたびはコイズミCDラジカセをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4
CDについて	4
テープについて	4
結露について	4
各部のなまえ	5~6
リモコンについて	7
リモコンの使いかた	7
リモコンの電池について	7
マイクスタンド・リモコンスタンドについて	8
マイクスタンドの取り付けかた	8
マイクの収納のしかた	8
リモコンスタンドの取り付けかた	8
リモコンの収納のしかた	8
電源について	9
家庭用電源で使うには	9
乾電池で使うには	9
CDを聴く	10~13
ディスプレイの表示について	11
ボーカルダウン機能を使う	11
プログラム演奏	12
リピート演奏/ランダム演奏	13
ラジオを聴く	14~15
設置場所について	14
プリセット機能	15

外部音声機器を聴く	16
テープを聴く	17~18
オートストップ機能について	18
ボーカルダウン機能を使う	18
再生速度を変えて聴く	18
重低音機能を使う	19
市販のヘッドホン/イヤホンで聴く	19
マイクを使う	20
録音する	21~25
オートストップ機能について	21
CDから録音する	21
ラジオから録音する	22
外部音声機器から録音する	23
マイクまたは内蔵マイクから録音する	24
CDとマイクから録音する	25
お手入れのしかた	26
本体のお手入れ	26
レンズのお手入れ	26
ヘッド部のお手入れ	26
仕様	27
別売品について	27
故障かな?と思われたときは	28~29
アフターサービスについて	30
お客様の個人情報のお取り扱いについて	31
お客様相談窓口	31

安全上のご注意

- *ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

本体の通風孔、カセットホルダーやCDの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない

お子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする

電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



雷が鳴ったら、機器の金属部や電源プラグに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



電源プラグは清潔にする 刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る

ショート・火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池、ボタン電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池、ボタン電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてない

乾電池、ボタン電池の破裂・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときは乾電池を取り出しておくと、リモコンを長期間使用しないときはボタン電池を取り出しておく

乾電池、ボタン電池の液もれで回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。



持ち運びするときは、アンテナをたたむ

伸ばしたまま持ち運びすると、アンテナが引っかかったり当たるとして、ケガの原因となることがあります。



幼児がカセットホルダーやCD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する

接続は指定のコードを使用する

乾電池、ボタン電池のプラス・マイナスは正しく入れる

乾電池、ボタン電池の発熱・破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。



乾電池、ボタン電池は幼児の手の届かないところに保管する

万一飲み込んだ場合はただちに医師とご相談ください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



- お客様が録音したものは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に取り直しをしてください。
- 本機の不具合により録音や再生できなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。いかなる場合においても当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

ご使用になる前に

ご注意

●次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
 - ちりやほこりなどの多い場所。
 - 風呂場など湿気の多い場所。
 - テレビやチューナーなどのそば。
- 雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。

●温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。


●キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。

●レンズにほこりがつかないように、使用しないときは、CDドアを開けておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。

●本体の分解・改造は絶対にしないでください。

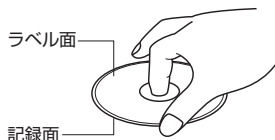
CDについて

CDの種類

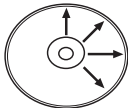
-  マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA (Compact Disc Audio) フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズされたもの※)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へと拭き取ってください。



※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



ご注意

円形以外(ハート型など特形状)のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

テープについて

90分を超えるテープの使用はおやめください。

他のテープに比べ非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれやすくなります。

テープの種類

- 録音にはノーマルポジションテープをお使い下さい。ハイポジション、メタルポジションテープでは、録音済みテープに録音すると、前に録音した内容が消去されず重なって録音されますので、再生しても正常に聞き取れません。また未使用のテープに録音しても十分に性能を発揮できません。



- エンドレステープは使用できません。

テープの取り扱い

※使用前にテープのたるみを取り除いてください。テープが機械に巻き込まれることがあります。

ご注意

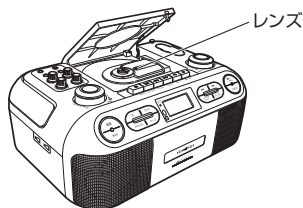
カセットテープ自体の回転が重たい場合にはデッキのピンチローラーにテープが絡む場合がありますので、次のような時にはご注意ください。

- カセットテープケースに歪みや変形がある場合
- 長年の使用でテープが劣化し、テープに波打ち伸びがある場合
- 寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだためテープ全体に結露した場合
- テープがひどく汚れ回転が重い場合など

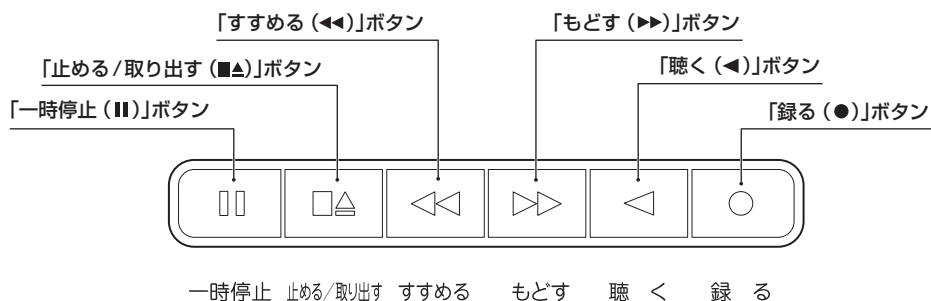
結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

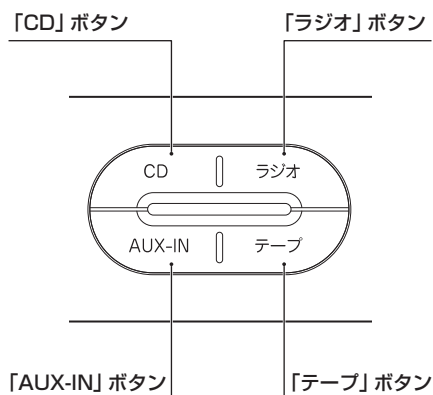
このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。



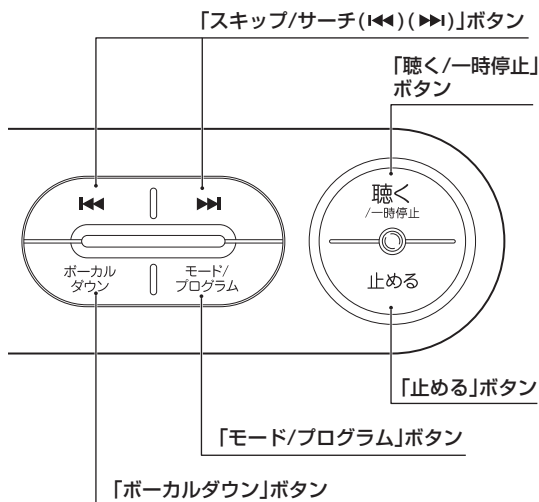
テープ操作部



ファンクション切替部



CD操作部



付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

●電源コード



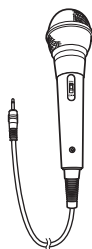
●リモコン

(ボタン電池 (CR2025) 付属)



●マイク

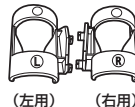
(型番: SAD-M5)



●リモコンスタンド



●マイクスタンド (2個)



●取扱説明書 (本書)



●保証書

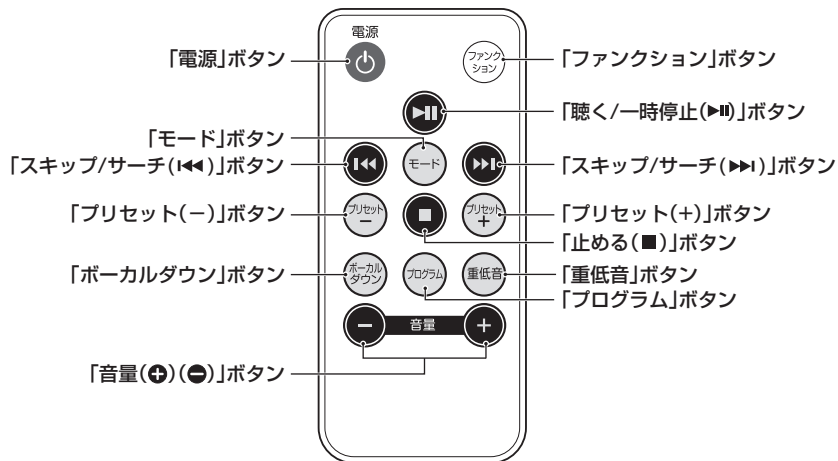


※リモコンスタンド・マイクスタンドの取り付けかたは、P. 8を参照してください。

リモコンについて

リモコン

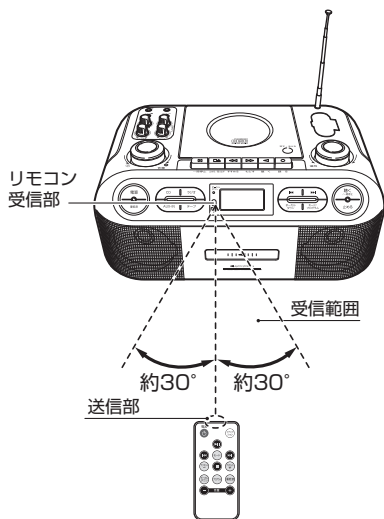
※乾電池で使用する場合は、乾電池の消耗をおさえるため、リモコンで電源を入れることはできません。



リモコンの使いかた

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて操作してください。

※リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物がないことを確認してください。



(使用可能範囲：本体から約3m・約30度)

リモコンの電池について

ご使用前に、リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。

リモコンにはボタン電池(CR2025)が付属しております。



リモコンの電池の交換のしかた

①リモコンの背面の電池カバーを開ける。

- ツメを押さえながら、引き出してください。



②ボタン電池(CR2025)を入れ、電池カバーを閉める。



リモコンの電池の交換目安

電池が消耗してくると、ボタンを押しても反応しない、反応が遅いなどの現象が生じます。

このようなときは、新しいボタン電池(CR2025)と交換してください。

ご注意

ボタン電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 使い切ったボタン電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

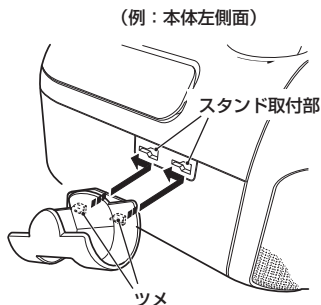
マイクスタンド・リモコンスタンドについて

スタンド取付部は、本体の側面(左右)に1箇所ずつあります。
(マイクスタンド2個、またはマイクスタンド1個とリモコンスタンド1個を取り付けできます。)

マイクスタンドの取り付けかた

本体の側面のスタンド取付部に、マイクスタンドのツメを合わせて差し込み、スライドさせる。

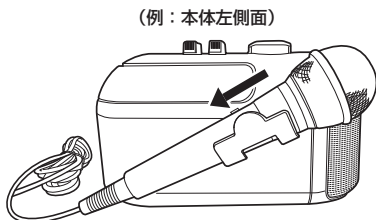
※本体を正面から見て左側に左用、右側に右用のマイクスタンドを取り付けてください。
(左用には㊶、右用には㊷の表示があります。)



マイクの収納のしかた

右図のように、マイクスタンドに差し込む。

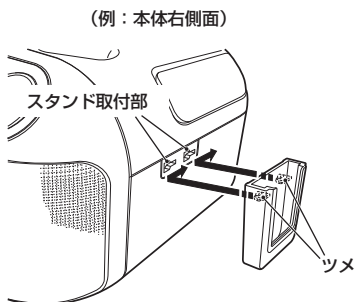
※マイクのコードをマイクスタンドに挟まないようにご注意ください。



リモコンスタンドの取り付けかた

本体の側面のスタンド取付部に、リモコンスタンドのツメを合わせて差し込み、スライドさせる。

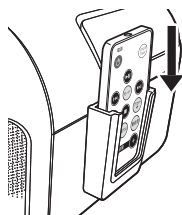
※リモコンスタンドは、左右どちらのスタンド取付部にも取り付けできます。



リモコンの収納のしかた

右図のように、リモコンスタンドに差し込む。

(例：本体右側面)



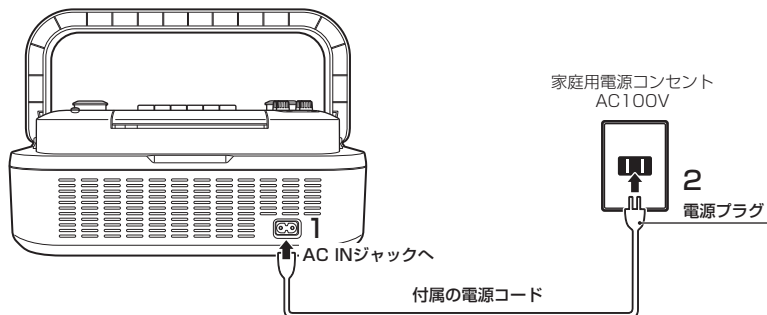
電源について

家庭用電源で使うには

※家庭用電源で使用するときは、本体から乾電池を取り出してください。
乾電池が入っていると乾電池が消耗します。

1. 電源コードの供給プラグを本体のAC INジャックへ差し込む。
2. 電源プラグをコンセントへ差し込む。

(本体背面)



※付属の電源コードは、SAD-4942専用です。
他の製品には使用しないでください。

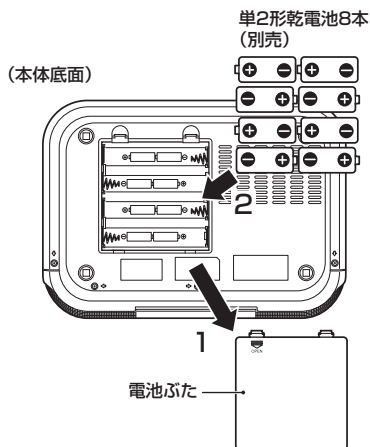
ご注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。
電源コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。

乾電池で使うには

※乾電池で使用するときは、本体から電源コードを取り外してください。

1. 電池ぶたを開ける。
2. 単2形アルカリ乾電池8本(別売)を
右図のように入れ、電池ぶたを閉める。



ご注意

乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

乾電池の交換目安

乾電池が消耗してくると、CDやテープが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。
このようなときは、新しい乾電池と交換してください。

CDを聴く

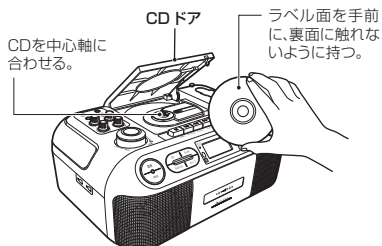
1. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。

- 「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。
- ※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。

2. 本体(ファンクション切替部)の「CD」ボタンまたはリモコンの「ファンクション」ボタンを押して[CD]機能を選ぶ。

- [CD]機能時には「CD」がディスプレイに表示されます。
- リモコンの「ファンクション」ボタンは、押すたびに以下のように機能が切り替わります。
→[CD]→[ラジオ[FM]]→[ラジオ[AM]]→[テープ]←[外部接続機器]

3. CD開閉部(押す-あける)を押してCDドアを開け、CDをセットする。

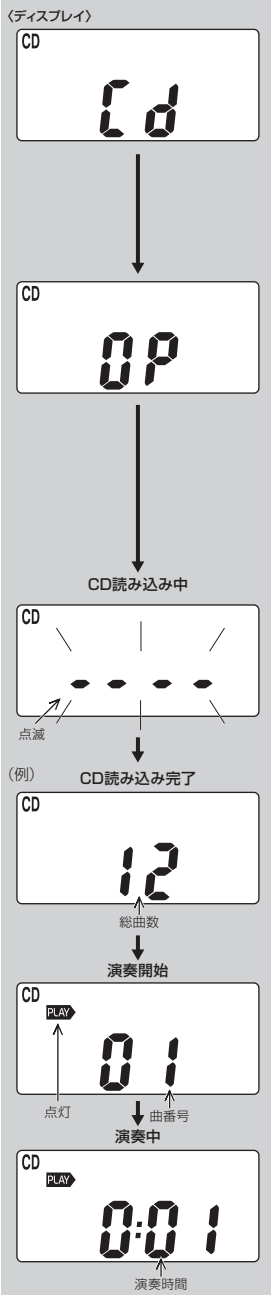


4. CD開閉部(押す-あける)を押してCDドアを閉じる。

- CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
- ディスプレイに総曲数が表示されます。

5. 本体(CD操作部)の「聴く/一時停止」ボタンまたはリモコンの「聴く/一時停止」ボタンを押す。

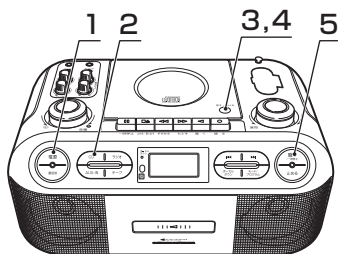
- 1曲目から演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。
- ※CD-R/RWに記録されたCD、コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。



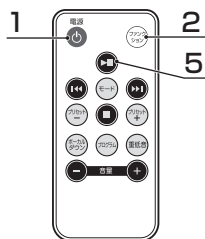
ご注意

- CDドアを開けるときは、ハンドルをたんでください。
- CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。ご使用前に保護シートを取り外してください。
- 演奏中・一時停止中、またはCDをセットしてCDドアを閉じた直後に、CDドアを開けないでください。CDに傷がつく恐れがあります。

本体



リモコン



CDを聴く

音量を調節する	本体の「音量」ダイヤルを回す。	リモコンの「音量(+)(-)」ボタンを押す。
演奏を止める	本体(CD操作部)の「止める」ボタンを押す。	リモコンの「止める(■)」ボタンを押す。
一時停止する	本体(CD操作部)の「聴く/一時停止」ボタンを押す。 ●演奏に戻るにはもう一度押す。	リモコンの「聴く/一時停止(▶▶)」ボタンを押す。 ●演奏に戻るにはもう一度押す。
早送り・早戻しする	演奏中/一時停止中に 本体(CD操作部)の「スキップ/サーチ(◀◀)(▶▶)」ボタンを押し続ける。 ●ボタンから指を離すと演奏に戻る。	リモコンの「スキップ/サーチ(◀◀)(▶▶)」ボタンを押し続ける。 ●ボタンから指を離すと演奏に戻る。
曲の頭を探す(スキップ)	演奏中/一時停止中に 本体(CD操作部)の「スキップ/サーチ(◀◀)(▶▶)」ボタンを押す。 停止中に 本体(CD操作部)の「スキップ/サーチ(◀◀)(▶▶)」ボタンで聴きたい曲を選んだ後、「聴く/一時停止」ボタンを押す。	リモコンの「スキップ/サーチ(◀◀)(▶▶)」ボタンを押す。 リモコンの「スキップ/サーチ(◀◀)(▶▶)」ボタンで聴きたい曲を選んだ後、「聴く/一時停止(▶▶)」ボタンを押す。

ディスプレイの表示について

ディスプレイに「**11**」が表示される場合、以下の項目を確認してください。

- CDが正しくセットされていますか？
 - CDの裏表を間違えていませんか？
 - レンズが汚れていませんか？(P. 26参照)
 - CDが汚れたり、傷ついていますか？
 - 使用できないCDを挿入していませんか？(P. 4参照)
- ※正常に作動しているときは、ディスプレイに数字で曲数(99曲まで)が表示されます。

ご注意

- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで10秒前後かかります。
- コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。
- 直接音楽ファイルを記録したCD(MP3ディスクやWMAディスク等)は再生できません。

ボーカルダウン機能を使う

■CDやカセットテープの歌声を小さくすることができます。

本体(CD操作部)またはリモコンの「ボーカルダウン」ボタンを押す。

- 「ボーカルダウン」ランプが点灯します。

ご注意

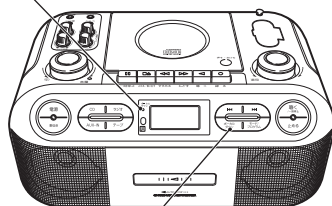
- 歌手の音域及び音源によっては、ボーカルダウンの効果が少なかったり、演奏の音量も小さくなる場合があります。
- CDやカセットテープ以外では、ボーカルダウン機能は働きません。

ボーカルダウン機能を解除する

本体またはリモコンの「ボーカルダウン」ボタンを押して、「ボーカルダウン」ランプを消灯する。

本体

「ボーカルダウン」ランプ



「ボーカルダウン」ボタン

リモコン

「ボーカルダウン」ボタン

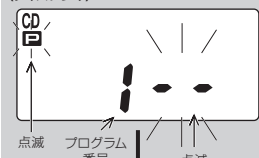


プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

停止中に

1. 本体(CD操作部)の「モード/プログラム」ボタンまたはリモコンの「プログラム」ボタンを押す。

(例)プログラム番号1に曲番号2を予約
(ディスプレイ)



2. 本体(CD操作部)またはリモコンの「スキップ/サーチ(◀▶)」ボタンでお好みの曲を選ぶ。



3. 本体(CD操作部)の「モード/プログラム」ボタンまたはリモコンの「プログラム」ボタンを押す。

- 予約が確定され、次のプログラム番号が表示されます。

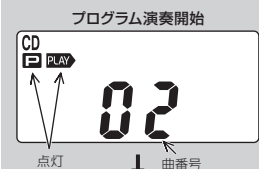


4. 上記2～3の操作を繰り返し、予約していく。

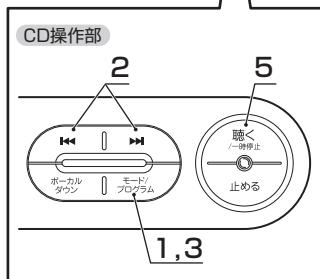
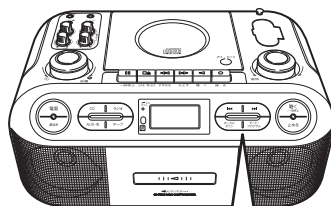
- 最大20曲まで予約することができます。

5. 本体(CD操作部)の「聴く/一時停止」ボタンまたはリモコンの「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。

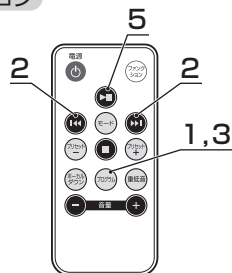
- プログラム演奏が始まります。
- プログラム演奏が終わると自動停止します。



本体



リモコン



プログラム演奏を停止する	本体(CD操作部)の「止める」ボタンを押す。	リモコンの「止める(■)」ボタンを押す。
一度停止したあと同じプログラムで演奏する	本体(CD操作部)の「聴く/一時停止」ボタンを押す。	リモコンの「聴く/一時停止(▶)」ボタンを押す。
プログラムを解除する	<p>プログラム演奏停止中に</p> 本体(CD操作部)の「止める」ボタン押して、ディスプレイの「■」の表示を消す。 ※他のファンクション(テープ・ラジオ・外部接続機器)に切り替えた場合も、プログラムが解除されます。	リモコンの「止める(■)」ボタンを押して、ディスプレイの「■」の表示を消す。

CDを聴く

リピート演奏/ランダム演奏

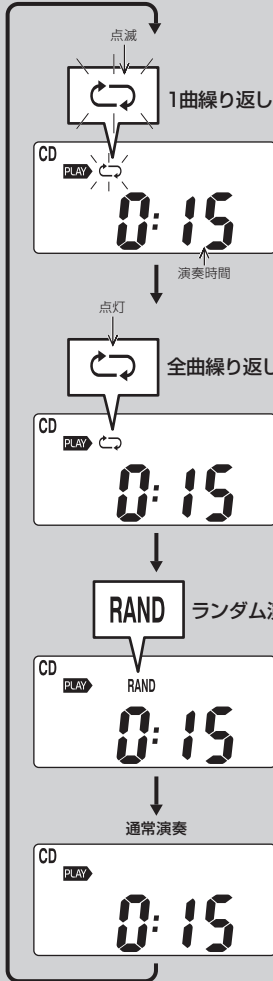
※プログラム演奏中はランダム演奏はできません。

演奏中/一時停止中に

本体(CD操作部)の「モード/プログラム」ボタンまたはリモコンの「モード」ボタンを押す。

- 押すことに設定が変わります。

〈ディスプレイ〉

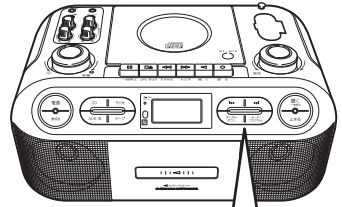


1曲繰り返し お好みの1曲を
繰り返し演奏します。

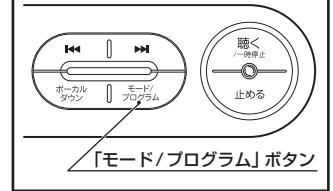
全曲繰り返し 全曲を
繰り返し演奏します。

ランダム演奏 全曲を
無作為に繰り返し演奏します。

本体



CD操作部



「モード/プログラム」ボタン

リモコン



「モード」ボタン

ラジオを聴く

1. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。

●「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。

※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。

2. 本体(ファンクション切替部)の「ラジオ」ボタンまたはリモコンの「ファンクション」ボタンを押して「ラジオ」機能を選ぶ。

- 「ラジオ」機能時には「FM」または「AM」と周波数がディスプレイに表示されます。
- 本体の「ラジオ」ボタンを押すたびに[FM]と[AM]が切り替わります。
- リモコンの「ファンクション」ボタンは、押すたびに以下のように機能が切り替わります。

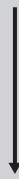


3. 本体の「選局」ダイヤルまたはリモコンの「スキップ/サーチ」ボタンで聴きたい局を選ぶ。

- FMステレオ放送受信時には「STEREO」がディスプレイに表示されます。

(例)FM802を聴く場合

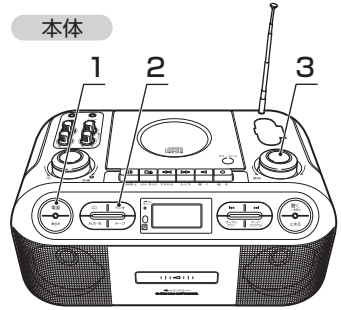
(ディスプレイ)



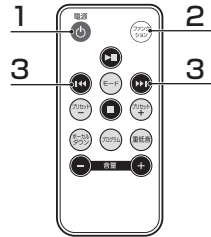
FMステレオ放送受信時:点灯



本体



リモコン



オートチューニング
(受信できる局を自動的に探す)

ラジオ受信中に

本体(CD操作部)の「スキップ/サーチ(◀▶)」ボタンを長押しする。

リモコンの「スキップ/サーチ(◀▶)」ボタンを長押しする。

音量を調節する

本体の「音量」ダイヤルを回す。

リモコンの「音量(+)(-)」ボタンを押す。

ラジオを切る

本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して、電源を切る。

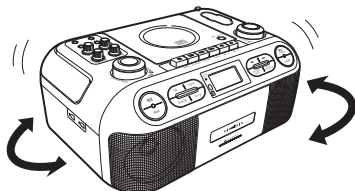
設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聴こえるところに設置してください。

(アンテナは本体内蔵)



FM放送の場合

ロッドアンテナを伸ばし、もっとも良く聴こえる方向に向けてください。



ラジオを聴く

プリセット機能 (お好みの放送局を記憶させて聴く)

■最大60局(AM:30局・FM:30局)まで記憶させることができます。

※新しい局を記憶させると、そのプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

1. 本体の「選局」ダイヤルまたはリモコンの「スキップ/サーチ(◀▶)」ボタンで聴きたい局を選ぶ。
2. 本体(CD操作部)の「モード/プログラム」ボタンまたはリモコンの「プログラム」ボタンを押す。
3. 本体(CD操作部)の「スキップ/サーチ(◀▶)」ボタンまたはリモコンの「プリセット(+)(-)」ボタンで記憶させたいプリセットを番号を選ぶ。
4. 本体(CD操作部)の「モード/プログラム」ボタンまたはリモコンの「プログラム」ボタンを押して確定させる。

ご注意

確定させないと、記憶されません。必本体(CD操作部)の「モード/プログラム」ボタンまたはリモコンの「プログラム」ボタンを押してください。

5. 複数の局を記憶させる場合は、上記1～4の操作を繰り返す。

ご注意

本体から電源コードを抜く、または乾電池を取り出すと、記憶させた局が全て解除されます。

(例)プリセット番号[03]にFM802を設定する

(ディスプレイ)



FM802を選ぶ



点滅

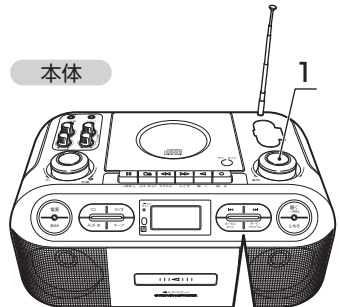
↓プリセット番号



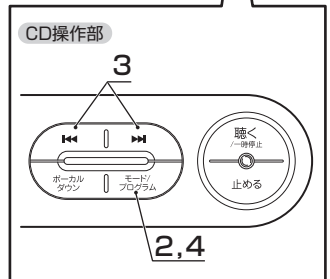
プリセット番号[03]を選ぶ



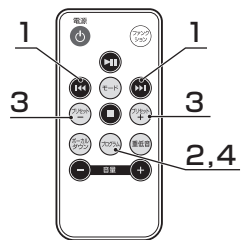
本体



CD操作部



リモコン



ラジオ受信中に

本体(CD操作部)の「スキップ/サーチ(◀▶)」ボタンで聴きたいプリセット番号を選ぶ。

※記憶させたプリセット番号のみが表示されます。

リモコンの「プリセット(+)(-)」ボタンで聴きたいプリセット番号を選ぶ。

※記憶させたプリセット番号のみが表示されます。

記憶させた局を聴く

(例)プリセット番号[03]に記憶させたFM802を聴く

(ディスプレイ)



点灯

約2秒後



外部音声機器を聴く

■外部の音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

1. 本体の「AUX-IN」端子と外部音声機器の音声出力端子を接続コード(市販)でつなぐ。
2. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。
 - 「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。
 - ※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。
3. 本体(ファンクション切替部)の「AUX-IN」ボタンまたはリモコンの「ファンクション」ボタンを押して[外部接続機器]機能を選ぶ。
 - [外部接続機器]機能時には「AUX」がディスプレイに表示されます。



- リモコンの「ファンクション」ボタンを、押すたびに以下のように機能が切り替わります。



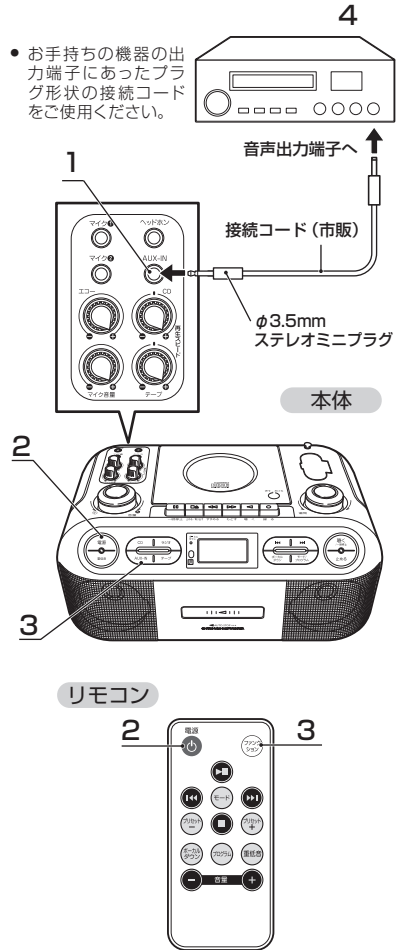
4. 接続した外部音声機器の演奏をはじめめる。

音量に過不足を感じるとき

本機と外部音声機器の両方の音量を調節する。
※外部音声機器の出力が小さいと、音がうまく聴こえない場合があります。

ご注意

外部音声機器を聴くとき以外は、接続コードを本体から取り外してください。



テープを聴く

1. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。

- 「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。

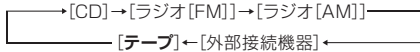
※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。

2. 本体(ファンクション切替部)の「テープ」ボタンまたはリモコンの「ファンクション」ボタンを押して[テープ]機能を選ぶ。

- [テープ]機能時には「TAPE」がディスプレイに表示されます。



- リモコンの「ファンクション」ボタンは、押すたびに以下のように機能が切り替わります。

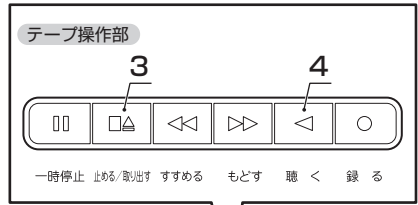


3. 本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。

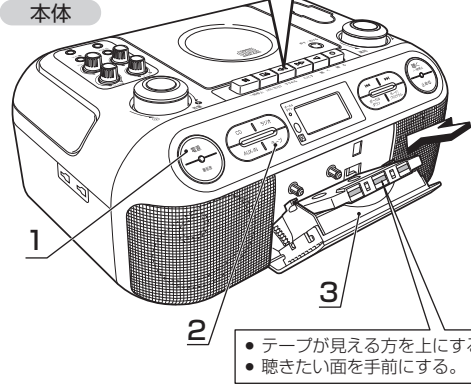
- カセットテープをカセットホルダーにそって図のように正しく入れてください。
- カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

4. 本体(テープ操作部)の「聴く(◀)」ボタンを押す。

- 演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。

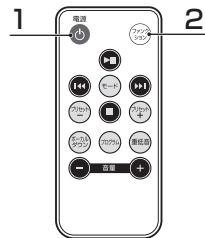


本体



- テープが見える方を上にする。
- 聴きたい面を手前にする。

リモコン



音量を調節する	<p>本体の「音量」ダイヤルを回す。</p> <p>リモコンの「音量(+) (-)」ボタンを押す。</p>		
演奏を止める	<p>本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押す。</p>	早送り・早戻しする	<p>本体(テープ操作部)の「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンを押す。</p> <p>●演奏に戻るには本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してから、「聴く(◀)」ボタンを押す。</p>
一時停止する	<p>本体(テープ操作部)の「一時停止(⏸)」ボタンを押す。</p> <p>●演奏に戻るにはもう一度押す。</p>		<p>ご注意</p> <p>●本体(テープ操作部)の「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンが押されているときに「聴く(◀)」ボタンを押さないでください。必ず「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してから「聴く(◀)」ボタンを押してください。</p> <p>●本体(テープ操作部)の「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンでテープが最後まで巻き取られたら、「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してください。</p>

オートストップ機能について

再生状態のときテープが最後まで巻き取られるとテープ操作部の「聴く(◀)」ボタンが自動的に停止します。

ボーカルダウン機能を使う

■CDやカセットテープの歌声を小さくすることができます。

本体(CD操作部)またはリモコンの「ボーカルダウン」ボタンを押す。

- 「ボーカルダウン」ランプが点灯します。

ご注意

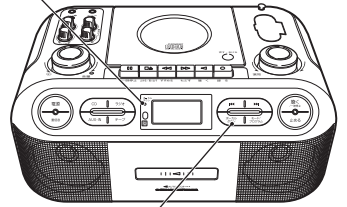
- 歌手の音域及び音源によっては、ボーカルダウンの効果が少なかったり、演奏の音量も小さくなる場合があります。
- CDやカセットテープ以外では、ボーカルダウン機能は働きません。

ボーカルダウン機能を解除する

本体またはリモコンの「ボーカルダウン」ボタンを押して、「ボーカルダウン」ランプを消灯する。

本体

「ボーカルダウン」ランプ



「ボーカルダウン」ボタン

リモコン

「ボーカルダウン」ボタン



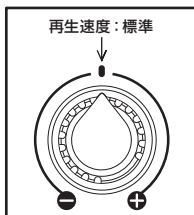
再生速度を変えて聴く

演奏中／一時停止中／停止中に

「CD再生スピード」つまみ、または「テープ再生スピード」つまみを回す。

※リモコンで再生速度は変更できません。

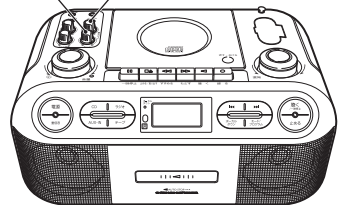
- 中央の ● 印に合わせたときが、標準の再生速度です。



本体

「テープ再生スピード」つまみ

「CD再生スピード」つまみ



重低音機能を使う

■低音を強調した音質に調節することができます。

本体またはリモコンの「重低音」ボタンを押す。

ご注意

音源によっては効果の少ない場合があります。

〈ディスプレイ〉(例)

CD

12

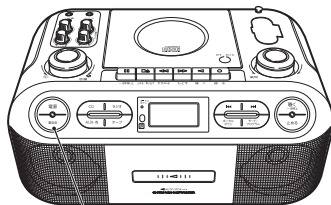
BASS

点灯

重低音機能を
解除する

本体またはリモコンの「重低音」ボタンを押して、ディスプレイの「BASS」の表示を消す。

本体



「重低音」ボタン

リモコン

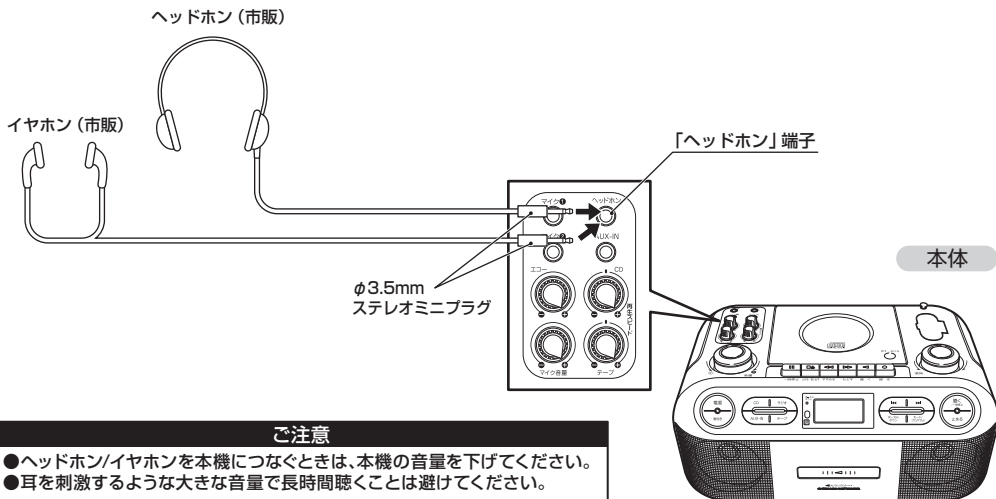


「重低音」ボタン

市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンの本機につないで、演奏を聴くことができます。

※ヘッドホン/イヤホンをつなぐと、スピーカーから音が出なくなります。



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンの本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

マイクを使う

■付属のマイクを本機につないで、スピーカーからマイクの音声を出すことができます。
CDやカセットテープの再生中も、マイクを使用できます。

1. 「マイク(①)」端子または「マイク(②)」端子にマイクを接続する。

- 2本同時に接続することもできます。

2. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。

- 「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。

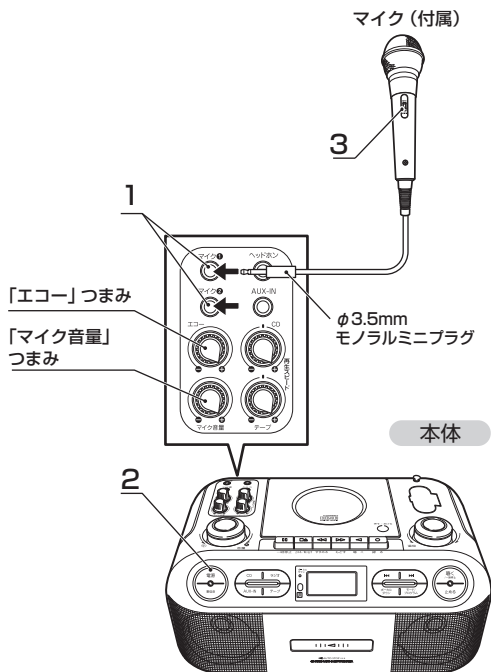
※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。

3. マイクのスイッチを入れる。

- マイクの音声がスピーカーから出ます。
- カラオケ用にCDやカセットテープの歌声を小さくすることができます。(P. 11、P. 18「ボーカルダウン機能を使う」参照)

マイクのエコーを調節する	本体の「エコー」つまみを回す。 <ul style="list-style-type: none">• マイクを2本接続した場合は、両方のエコーが調節されます。
マイクの音量を調節する	本体の「マイク音量」つまみを回す。 <ul style="list-style-type: none">• マイクを2本接続した場合は、両方の音量が調節されます。

※CDやカセットテープの音量は、本体の「音量」ダイヤル、またはリモコンの「音量(+)」(「音量(-)」)ボタンで調節してください。(P. 11、P. 17参照)



リモコン



ご注意

- マイクを接続すると、内蔵マイクはOFFになります。
- マイク使用中、ハウリング (ピーという音) が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- マイクを使用しない時は、マイク端子からマイクを取り外してください。

録音する

ご注意

テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押すとテープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。テープが入っていないときや、カセットテープの消去防止用のツメが折れているとき、「録る(●)」ボタンは押し込められません。無理に押さないでください。

録音済みのテープの誤消去防止のために

カセットテープ背面にあるツメをドライバーなどで根本から折っておくと、録音操作ができなくなります。接着テープなどで穴をふさぐと再び録音することができます。

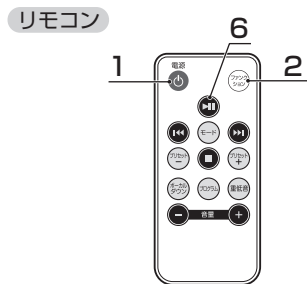
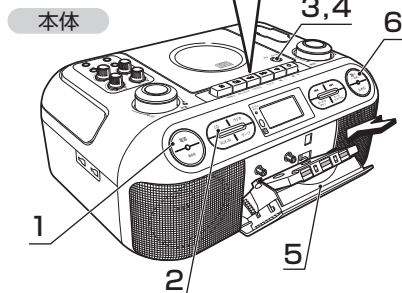
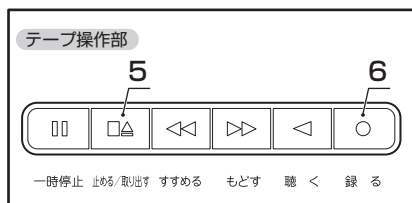


オートストップ機能について

テープが最後まで巻き取られるとテープ操作部の「録る(●)」ボタンと「聴く(◀)」ボタンが自動的に停止します。

CDから録音する

1. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。
 - 「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。
 - ※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。
2. 本体(ファンクション切替部)の「CD」ボタンまたはリモコンの「ファンクション」ボタンを押して[CD]機能を選ぶ。
 - [CD]機能時には「CD」がディスプレイに表示されます。
 - リモコンの「ファンクション」ボタンは、押すたびに以下のように機能が切り替わります。
→[CD]→[ラジオ[FM]]→[ラジオ[AM]]→[外部接続機器]→[テープ]
3. CD開閉部(押す-あける)を押してCDドアを開け、CDをセットする。
4. CD開閉部(押す-あける)を押してCDドアを閉じる。
 - CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
5. 本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
 - カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
6. 本体(テープ操作部)の「録る(●)」ボタンを押し、本体(CD操作部)の「聴く/一時停止」ボタンまたはリモコンの「聴く/一時停止(▶■)」ボタンを押す。
 - テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。
 - テープが走行し録音が始まります。



録音を止める	①本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押す。 ②本体(CD操作部)の「止める」ボタンまたはリモコンの「止める(■)」ボタンを押す。
一時停止する	本体(テープ操作部)の「一時停止(■)」ボタンを押す。 ●録音に戻るには「一時停止(■)」ボタンを押す。

録音レベルについて

録音レベルは自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

ラジオから録音する

ご注意

●ラジオを録音する際は、電波の届きやすいところで行ってください。

1. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。

- 「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。

※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。

2. 本体(ファンクション切替部)の「ラジオ」ボタンまたはリモコンの「ファンクション」ボタンを押して[ラジオ]機能を選ぶ。

- [ラジオ]機能時には「FM」または「AM」と周波数がディスプレイに表示されます。
- 本体の「ラジオ」ボタンを押すたびに[FM]と[AM]が切り替わります。
- リモコンの「ファンクション」ボタンは、押すたびに以下のように機能が切り替わります。

[CD]→[ラジオ[FM]]→[ラジオ[AM]]→[外部接続機器]→[テープ]

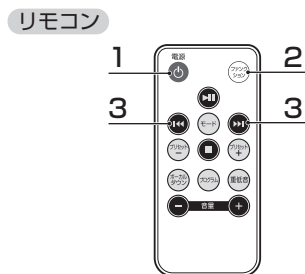
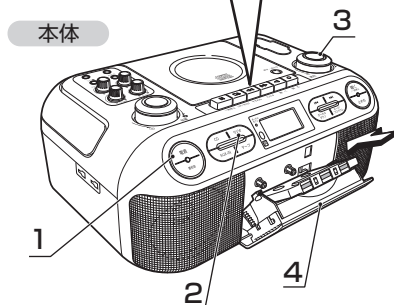
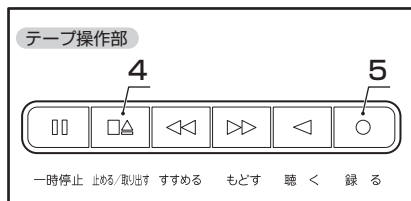
3. 本体の「選局」ダイヤルまたはリモコンの「スキップ/サーチ(◀▶)」ボタンで聴きたい局を選ぶ。

4. 本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。

- カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

5. 本体(テープ操作部)の「録る(●)」ボタンを押す。

- テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。
- テープが走行し録音が始まります。



録音を止める

本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押す。

一時停止する

本体(テープ操作部)の「一時停止(■)」ボタンを押す。
●録音に戻るには「一時停止(■)」ボタンを押す。

録音レベルについて

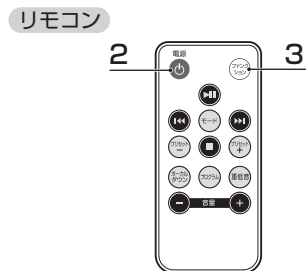
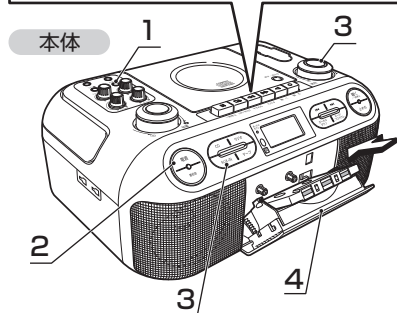
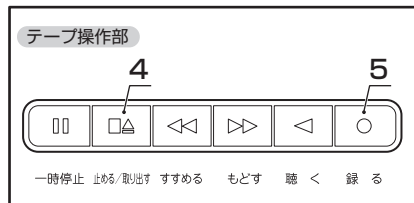
録音レベルは自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

録音する

外部音声機器から録音する

1. 本体の「AUX-IN」端子と外部音声機器の音声出力端子を接続コード(市販)でつなぐ。
(P. 16参照)
2. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。
 - 「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。
 - ※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。
3. 本体(ファンクション切替部)の「AUX-IN」ボタンまたはリモコンの「ファンクション」ボタンを押して[外部接続機器]機能を選ぶ。
 - [外部接続機器]機能時には「AUX」がディスプレイに表示されます。
 - リモコンの「ファンクション」ボタンは、押すたびに以下のように機能が切り替わります。

[CD]→[ラジオ[FM]]→[ラジオ[AM]]→[外部接続機器]→[テープ]
4. 本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
 - カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
5. 本体(テープ操作部)の「録る(●)」ボタンを押す。
 - テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。
 - テープが走行し録音が始まります。
6. 接続した外部音声機器の演奏をはじめめる。



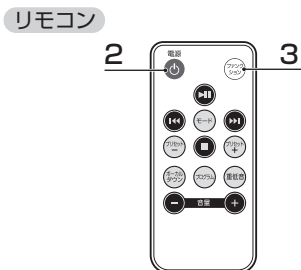
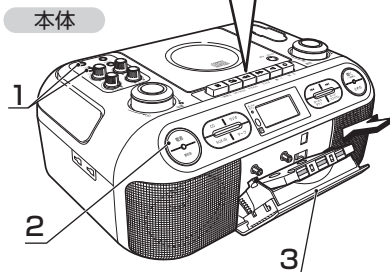
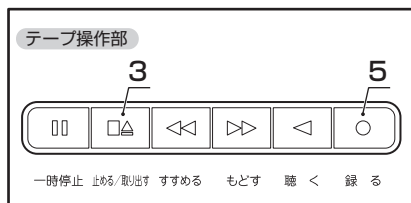
音量に過不足を感じる時	外部音声機器の音量を調節する。 ※外部音声機器の出力が小さいと、うまく録音できない場合があります。
録音を止める	本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押す。
一時停止する	本体(テープ操作部)の「一時停止(■)」ボタンを押す。 • 録音に戻るには「一時停止(■)」ボタンを押す。

ご注意

外部音声機器からの録音が終わったら、接続コードを本体から取り外してください。

マイクまたは内蔵マイクから録音する

1. マイクから録音する場合は、「マイク(①)」端子または「マイク(②)」端子にマイクを接続する。(P. 20参照)
2. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。
 - 「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。
 - ※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。
3. 本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
 - カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
4. マイクから録音する場合は、マイクのスイッチを入れる。
5. 本体(テープ操作部)の「録る(●)」ボタンを押す。
 - テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。
 - テープが走行し録音が始まります。
 - 録音中の音声スピーカーから出ます。



マイクからの録音音量を調節する

本体の「マイク音量」つまみを回す。

録音レベルについて

内蔵マイクから録音する場合は、録音レベルは自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

録音を止める

本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押す。

一時停止する

本体(テープ操作部)の「一時停止(■)」ボタンを押す。
●録音に戻るには「一時停止(■)」ボタンを押す。

ご注意

- マイクを接続すると、内蔵マイクはOFFになります。
- マイク使用中、ハウリング(ピーという音)が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- マイクを使用しない時は、マイク端子からマイクを取り外してください。
- 内蔵マイクから録音するときは、内蔵マイクに近づいて録音してください。内蔵マイクから離れ過ぎると、うまく録音できない場合があります。

CDとマイクから録音する

■CDとマイクの両方の音声を同時に録音することができます。

1. 「マイク(①)」端子または「マイク(②)」端子にマイクを接続する。(P. 20参照)

2. 本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を入れる。

- 「音量」ダイヤル・「選局」ダイヤルのライトとディスプレイが点灯します。

※乾電池で使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。

3. 本体(ファンクション切替部)の「CD」ボタンまたはリモコンの「ファンクション」ボタンを押して[CD]機能を選ぶ。

- [CD]機能時には「CD」がディスプレイに表示されます。
- リモコンの「ファンクション」ボタンは、押すたびに以下のように機能が切り替わります。

[CD]→[ラジオ[FM]]→[ラジオ[AM]]→[外部接続機器]→[テープ]

4. CD開閉部(押す-あける)を押してCDドアを開け、CDをセットする。

5. CD開閉部(押す-あける)を押してCDドアを閉じる。

- CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

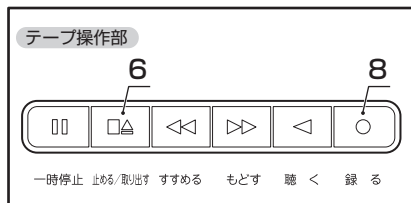
6. 本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。

- カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

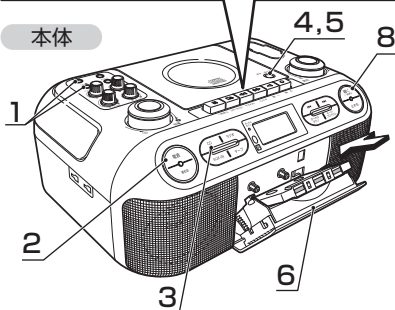
7. マイクのスイッチを入れる。

8. 本体(テープ操作部)の「録る(●)」ボタンを押し、本体(CD操作部)の「聴く/一時停止」ボタンまたはリモコンの「聴く/一時停止(▶■)」ボタンを押す。

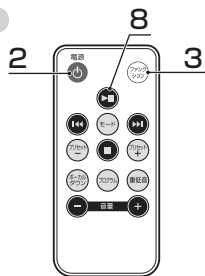
- テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。
- テープが走行し録音が始まります。
- 録音中の音声スピーカーから出ます。



本体



リモコン



マイクからの録音音量を調節する	本体の「マイク音量」つまみを回す。
録音を止める	①本体(テープ操作部)の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押す。 ②本体(CD操作部)の「止める」ボタンまたはリモコンの「止める(■)」ボタンを押す。
一時停止する	本体(テープ操作部)の「一時停止(■)」ボタンを押す。 •録音に戻るには「一時停止(■)」ボタンを押す。

録音レベルについて

CDからの録音音量は、自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

ご注意

- マイクを接続すると、内蔵マイクはOFFになります。
- マイク使用中、ハウリング(ピーという音)が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- マイクを使用しない時は、マイク端子からマイクを取り外してください。

お手入れのしかた

※必ず本体またはリモコンの「電源」ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

本体のお手入れ

乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。



レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のブローアードで2~3回吹き、ブローアード先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをブローアードで吹いてください。

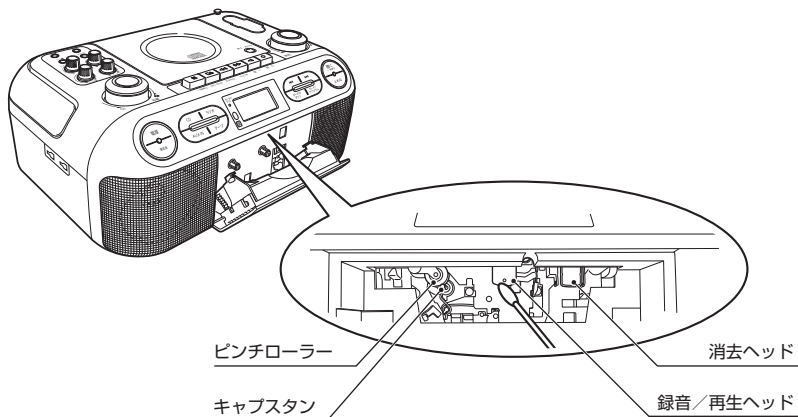
ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。



ヘッド部のお手入れ

ヘッド部にごみやほこりなどが付着すると音質劣化や消去不良を招きます。
市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、各ヘッドを月に1~2回掃除してください。



仕様

受信周波数	FM:76~108MHz AM:522~1629kHz	電源	2電源方式 ●AC100V 50/60Hz(付属電源コード使用時) ●DC12V 単2形アルカリ乾電池×8本(別売)
アンテナ	FM:ロッドアンテナ AM:フェライトバーアンテナ内蔵	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	テープ再生時(JEITA) :約25時間 CD再生時(JEITA) :約14時間 ラジオ受信時(JEITA) :約16時間
トラック方式	ステレオ	消費電力	16W
スピーカー	7.6cm(6Ω)×2個	最大外形寸法	(ハンドルを立てた時)約310(幅)×215(奥行)×222(高さ)mm (ハンドル収納時)約310(幅)×215(奥行)×140(高さ)mm
出力端子	ヘッドホン端子(φ3.5mm)×1	質量	約2.2kg(乾電池含まず)
入力端子	マイク端子(φ3.5mm)×2 AUX-IN端子×1	電源コードの長さ	約1.4m
実用最大出力	1.5W+1.5W(JEITA)	付属品	電源コード、リモコン、マイク(型番:SAD-M5)、 マイクスタンド×2、リモコンスタンド、 取扱説明書(本書)、保証書

●マイク (型番 : SAD-M5)

出力インピーダンス	600Ω以下	コードの長さ	約2.1m
周波数特性	30~15kHz	種類	ダイナミック型

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

別売品について

マイクは別売品としてお買い求めいただけます。

別売品を依頼される場合は、お買い上げの販売店か、裏表紙に記載の小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名称	型番
マイク	SAD-M5

故障かな？と思われたときは

症状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	乾電池は正しい方向で入っていますか？	乾電池の +- を確かめてください。
	電源コードが抜けていませんか？	正しく接続してください。
	乾電池で使用時にリモコンで電源を入れようとしていませんか？	乾電池で使用する場合は、乾電池の消耗をおさえるため、リモコンで電源を入れることはできません。本体の「電源」ボタンを押してください。
音が出ない。	「ヘッドホン」端子にコードが差し込まれていませんか？	コードを抜いてください。
CDやカセットテープの歌声が出ない。	「ボーカルダウン」ランプが点灯していませんか？	ボーカルダウン機能を解除してください。(P. 11、P. 18参照)
カセットテープが入らない。	テープの向きは正しいですか？	テープを正しく入れてください。
「録る(●)」ボタンが押しこめない。	カセットの誤消去防止用ツメが折れていませんか？	ツメの折れていないカセットを使うか、接着テープなどで穴をふさいでください。
テープの回転ムラがある。	乾電池が古くなっていませんか？	新しい乾電池をご使用ください。
	テープがたるんでいませんか？	テープのたるみを直してからカセットテープを入れてください。
	巻きとりムラができていませんか？	テープを全部巻き直してみてください。
テープの再生音が悪い。	ヘッド部が汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布でヘッド部を定期的に掃除してください。(P. 26参照)
テープの再生音が歪む。	ハイポジション、メタルポジションテープを使っていますか？	ノーマルポジションテープを使用してください。
テープが巻きつく。	ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布を使って、ピンチローラー・キャプスタンを掃除してください。(P. 26参照)
	テープがたるんでいませんか？	テープのたるみを直してからカセットテープを入れてください。
テープが絡んだ。	カセットテープが古くありませんか？	無理な取り出しをせず、お買い上げの販売店か小泉成器株式会社「修理センター」に修理を依頼してください。
前の録音が消えない。	消去ヘッドが汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布で消去ヘッドを掃除してください。(P. 26参照)
	ハイポジション、メタルポジションテープを使っていますか？	ノーマルポジションテープを使用してください。

故障かな？と思われたときは

症状	チェックポイント	処置のしかた
CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに「ff」を表示する。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	CDの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。
	レンズが汚れていませんか？	お手入れのしかたを参考にレンズのお手入れをしてください。(P. 26参照)
	レンズに霧や水滴がついていませんか？	CDを取り出してCDドアを開け、1時間程置いてください。
	CDが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	ファイナライズ処理(通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。	
	CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	ディスクを替えて試してください。
CDの音が飛ぶ。	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか？	CDを替えて試してください。
	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
ラジオに雑音が入る。	電波の届きやすいところに置いていますか？	設置場所を確認してください。(P. 14参照)
	テレビと同時に使用していませんか？	テレビから離してください。またはテレビの電源を切ってください。
「ボーカルダウン」ボタンを押しているのに、CDやカセットテープの歌声が小さくならない。	歌手の音域及び音源によっては、ボーカルダウンの効果が少なくなることがあります。	

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- CDラジカセの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の音響機器の点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- コゲくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。



ご使用
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけません

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2017年9月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)